



令和4年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(特許)

シロウマサイエンス株式会社

代表取締役社長 長田 剛

企業概要

<https://www.shirouma.co.jp/>

所在地：富山県下新川郡入善町青木5777番地

創立：1969年

資本金：80百万円

従業員：369人

事業概要：合成樹脂、その他の素材を原料とする新商品の研究開発と製造販売。食品、医薬、化粧品、他の多種多様な容器の開発及び製造販売



受賞のポイント

- 知財部門は営業開発本部の中に存在し、日常的に商品開発部門と協働して知的財産の創出、保護を行っている。取締役執行役員が営業開発本部長となっており、経営と一体になった知財戦略を構築している。
- 特許、実用新案、意匠、商標全ての知的財産権について、出願するか否かの判断を全取締役で構成される「職務発明審査会」を開催して判断しており、経営層が自社の知財状況を全て把握している。さらに、知的財産担当者が自社のビジネス、商品開発の現状、顧客のニーズ等を全て把握しているため、自社のビジネスに即した特許明細書の原案を作成することが可能。
- 出願の約7割がパートナー企業と共同出願としているが、自社側の発明寄与率が高い場合が多く、パートナー企業が大企業であったとしても、主に自社側で出願、管理のイニシアティブを取って、特許請求の範囲や明細書の骨子を自社内で作成し、自社のビジネスに有効な形となるようにしている。



しぼり出しやすい多層チューブと
開けやすいキャップ



粉粒体用多層容器(右)と
内袋がしぼむことで空気流入を防ぎ鮮度を
保つ粘稠体用容器(ブンリ®)(左)



通常のばねヒンジキャップ(右)と
180°以上の開角度で固定可能な高性能ばね
ヒンジキャップ(アベルト®)(左)